



# 明日張胆



写真：鳥取しゃんしゃん祭…「しゃんしゃん」とは、市街地の温泉で「湯がしゃんしゃん湧く」と「鈴の音がしゃんしゃん鳴る」という意味で名付けられました。毎年3千数百人が一斉に踊る華麗な「鳥取しゃんしゃん祭」は今や全国にも広く知られる祭りとなっています。

2007年度  
(社)鳥取青年会議所  
広報誌 7月号

# 因幡

INNOVA [ina:va]  
変革

鳥取青年会議所 検索  
URL <http://torijc.main.jp>  
E-mail [torijc@hal.ne.jp](mailto:torijc@hal.ne.jp)

## 七月 理事長挨拶

理事長 安陪 幸伸

いよいよ今年の大きな目玉となる参議院選挙が今月末にございます。メディア等でも大きく取り上げられておりますが、争点となっている問題として年金記録問題、そして政治と金の問題で事務所費計上の問題、また安倍内閣に関わるところで数名の大臣不祥事での任命責任などが挙げられます。数々ある問題でどれも確かに重要な問題であることは間違いないと思いますが、私が思うに、今回の選挙で着目するには少し視点がずれているように感じます。

本来、各議員や政党は前回の選挙で国民に選ばれている訳ですから、選ばれた者としての責任があると思います。先に挙げた諸問題は年金であれば社会保険庁、事務所費であれば当事者の議員、また大臣に関しては当事者もですが任命した安倍総理がしっかりとした反省の基に、責任を取ればよいと思っています。ここで私が申し上げたいのは選挙の争点がこれら問題が中心になり、責任問題が選挙で結論付けられようとしていることです。不祥事を起こした議員がその審議を国民に委ね、選挙で結論付ける事が本当の選挙なのではないでしょうか。

今年、社団法人鳥取青年会議所では事業として「鳥取市長マニフェスト」市民検証・評価大会を開催いたします。この大会は竹内鳥取市長が市長選挙のときに掲げたマニフェストを、市民の手で検証し評価する大会です。市民への約束として掲げた公約がどのように進捗し、実現・達成されているのか竹内市長からも説明をいただきます。

選挙だけで議員や政党の評価をするのではなく、こうした検証や評価大会でしっかりと見極めを行い、市民や国民にもっと判り易いシステムや社会基盤がこれからは必要になってくるのではないのでしょうか。今、「鳥取市長マニフェスト」市民検証・評価大会に多くの市民が参加されることを願っております。

2007年度  
日本JCスローガン

「日本の力」発信! 理想国家日本の創造に向けて!

2007年度  
鳥取JCスローガン

# 目標を見定め「我」実行せん!

## ■ まちづくりの仲間紹介 ■

毎月、鳥取県東部で活躍されているまちづくり団体をご紹介します

### < 特定非営利活動法人「とっとり希望化計画21」 >

この法人は、鳥取県の秘めた人的、物質的力を発掘し、それを最大限に活かすための知恵を出し合うことによって、鳥取県を広く国内外にアピールし、また、市民参画型まちづくりに関する様々な事業及び非営利活動団体に対する支援をおこない、創造と活力にあふれた知育づくりの推進をすることによって、鳥取県を活性化し県民に寄与することを目的とする。

【お問合せ先】 TEL: (0857)28-8955  
URL: <http://www.tottorihope21.com/>

## 。まちづくりイベント情報。

### 『鳥取しゃんしゃん祭がひと味ちがう!』

今年は3日間開催となりました。踊り子連の渋滞を解消する為に、市役所前から鳥取駅前までの直線コース(一方通行)になります。コース上の数カ所で照明による光の演出を行い、観客踊り子ともに多くの見せ場を提供します。

8月10日(金) すずっこ踊り 18:30~  
8月11日(土) しゃんしゃん一斉傘踊り 15:00~  
8月12日(日) 花火大会 15:00~

【お問合せ先】 鳥取しゃんしゃん祭振興会  
TEL: (0857)30-3302 FAX: (0857)30-3303

### 『鳥取港サンセットクルージング』

日本海に沈む夕日や漁火・鳥取砂丘を遊覧船で満喫したあと、地元のおいしい海の幸に舌鼓を打ってみませんか!

日程 7月20日~22日、27日、29日~31日、  
8月1日~5日、10日~12日  
時間 18:10-集合(鳥取港漁港岸壁)  
18:40-出港  
19:30-食事  
料金 大人(中学生以上)3,000円  
小人(小学生)1,500円  
申込先 山陰松島遊覧 TEL:(0857)73-1212  
鳥取市ホテル旅館協同組合  
TEL: (0857)22-7809(平日のみ)

【お問合せ先】 賀露みなと観光協会  
TEL: (0857)28-1004

## 事業のお知らせ

### マニフェストって知ってますか? 市民で採点! 市長のマニフェスト

マニフェスト型社会実現へ  
「鳥取市長マニフェスト」市民検証・評価大会

鳥取市の竹内市長が昨年4月にマニフェストを掲げ、2期目の市政がスタートして1年が経過致しました。鳥取市長選挙の際に竹内市長が市民に対して約束した政策目標が、現在どの程度まで進行し実現・達成できているのかを、有権者や市民の立場から検証及び評価を行うことによりマニフェスト型地域経営の定着そして発展を目指すと共に、真の地方分権を推進し、より一層住民の参政意識・社会参画への意識向上を図ることが出来ると考えています。

日時 2007年 8月19日(日) 会場 鳥取市民会館大ホール  
入場料 無料(会場定員1,000名)

13:00~ 第1部 基調講演  
演題:分権自立とマニフェスト  
講師:早稲田大学大学院 教授 北川正恭氏  
15:00~ 第2部 「鳥取市長マニフェスト」市民検証・評価  
コーディネーター 鳥取大学 副学長 永山正男氏  
パネリスト 鳥取市長 竹内功氏  
鳥取市長マニフェスト評価委員

16:30 終了  
※当日の駐車場はございませんので、周辺の公共駐車場をご利用いただくか、公共交通機関をご利用の上お越し下さいませ。

### しゃんしゃん祭り「因幡市民連」募集

8月11日(土)に開催される第43回しゃんしゃん祭一斉傘踊りでどなたでも参加できる「因幡市民連」を作りました。今まで参加するきっかけの無かった方、私たちと郷土の文化を体感しませんか。

- ◆募集要項
- ・所定のコースを踊りきれの方
- ・少人数の為連として参加できず困っておられる方
- ・7月29日~8月5日の内、数回の練習に参加できる方(踊れる方ももちろんOK)
- ・小学生以下の方は保護者同伴でお願いします
- ◆定員100名 参加費:無料 傘はこちらで準備します。
- ◆応募締切 7月28日(土)

【お問合せ先】  
社団法人 鳥取青年会議所  
TEL: (0857)-24-1638 e-mail : [torijc@hal.ne.jp](mailto:torijc@hal.ne.jp)

## ◆今月の表題◆

明日張胆・・・めいもくちょうたん  
両目をしっかりと見開き、肝っ玉を大きくして、心おきなく振舞うこと。責任の重大なとき、こうした心構えで行動しなければならない。参照・・・「四字熟語」これだけ辞典

# ローカル・マニフェストについて

特別委員会 委員長 山根康徳

マニフェストとは何か？ イタリア語で「公にする」または「しっかりと掴む」などの意味であり、1834年にイギリスの保守党が取り入れた「検証可能な政権公約」である。マニフェストの特徴は明確な達成期限、数値目標、財源、手法や効果を有権者と契約し当選後には実行体制を整え進捗状況を毎年公開していくことである。そして最も大切なのは行政内部だけではなく市民主体で検証・評価する事であります。なぜマニフェストを検証・評価するのか？

当選した政治家が有権者と約束したマニフェストを一方的に取り組んでいくのは「投げっぱなし」であり無責任な結果にもなりかねません。そこで市民主体での検証・評価をする、いわゆる外部評価が必要となるわけです。マニフェストの進捗状況のチェックは不明確な点の追及が可能であり、前向きな改善や提案をすることが出来るのです。マニフェストには「パーテイ・マニフェスト」と「ローカル・マニフェスト」の二種類があります。国政選挙で政党や党首が掲げるのが「パーテイ・マニフェスト」であり、地方の首長や地方議会の議員がマニフェストを掲げているのが「ローカル・マニフェスト」であります。私たち(社)鳥取青年会議所が8月19日(日)に開催します「鳥取市長マニフェスト」市民検証・評価大会は鳥取県内で初となる市民主体で行う「ローカル・マニフェスト」の外部評価となるのです。

「ローカル・マニフェスト」は私達のまちの中期的重要施策を最優先で実行し、分かり易く明確に伝えなければなりません。そして我々市民が当然知らなければなりません。政策が実現し達成を評価するとは当然ですが、進捗状況を毎年検証・評価することが大切だと思います。そして市民が掲げるマニフェスト(市民がつくるローカル・マニフェスト)を行政に提案し次回の選挙で立候補者が取り入れていく事も可能でです。マニフェスト型選挙は政策中心の「お願いから約束へ」となりマニフェストサイクル(選挙→実行体制→評価→改善→選挙)の稼働を行います。ローカル・マニフェストの推進は地方行政だけではなく市民の意識改革、制度改革を行う上で重要な運動であり、市民が政治への参画意識向上へと繋ぐ事が出来るのです。

# マニフェストについて考える

## ご存知ですか？ 鳥取市長マニフェスト

### マニフェスト1

**・高速道路を活かした 地域経済の活性化**  
高速道路を活用して農林水産業、製造業等の振興と雇用拡大をはかります。企業誘致、四年間で8社以上をめざします。

### マニフェスト2

**・地域コミュニティの充実と強化**  
平成19年度中に地区公民館の充実をはかり、地域の自治会や市民団体が行う防災・福祉・文化・スポーツ活動を強力に支援します。

### マニフェスト3

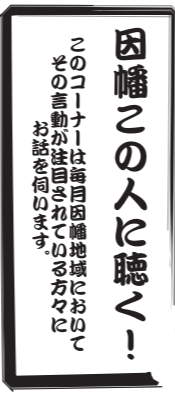
**・市民との協働と市民サービスの向上**  
平成18年度に、若者との協働によるまちづくりをめざし『若者会議』を新設します。市役所に何でも相談できる『市民総合相談窓口』を設けます。

### マニフェスト4

**・観光資源の魅力アップにより 観光客の大幅増加**  
平成21年度を『因幡の祭典』の年とし、広域観光イベントを盛大に開催します。平成22年度の観光客数200万人以上をめざします。※県の観光客数統計の修正により、目標値の200万人以上を270万人以上と見なし、取り組んでいる。

### マニフェスト5

**・人口が増加していく 住み良いまちづくり**  
待機児童ゼロ、若者定住をはじめ、教育・健康・福祉の施策を充実させ、平成22年度の鳥取市人口203,000人をめざします。



今月は特別にお隣鳥根県まで出かけて、ローカルマニフェストの権威、田嶋先生にお話を伺いました。

### 田嶋 義介氏 プロフィール

朝日新聞を経て鳥根県立大学総合政策学教授、ローカル・マニフェスト推進ネットワーク中国代表。地方分権論、地方自治論専攻。

**安陪** 今日はローカル・マニフェストについてお話を聴かせ願えますでしょうか。  
**田嶋** そうですね。まず最初にご理解をいただきたいことは、地方自治体への政府のコントロールが効きすぎているということです。国家的にみても地方自治体に任せられている公共的な仕事の割合が多いといえます。大体6割位ですかね。でも、予算はその逆となっています。交付税とか補助金とかいう名目で国から予算が降りてくる形ですね。近年地方自治体ということが掲げられて議論が進んできています。例えば水道事業ですが、日本では水の供給は井戸ではなく水道ですね。これは政策でつくられたものです。ということは都市社会、市民政治でやっていくのが本来ではないですか。今の社会基盤を維持していくには巨大な官僚社会組織も必要です。しかし巨大な力を持つてしまおうので対抗勢力も必要で権力を分割したほうがいいわけです。市民が出来ることは市民で出来るように分権したほうが良いと思います。そこで考えられるのが、代議制である議会です。ですからマニフェストが必要で、政策を重視した展開を望む必要性があるのです。



《 田嶋 義介氏 》

**安陪** そこから先生はローカル・マニフェスト推進ネットワークに参加されているわけですね。  
**田嶋** そうです。北川さん(前三重県知事、早稲田大学大学院教授)の動きに賛同しました。政党のマニフェストから近年ローカル・マニフェストへの動きが目立ってきました。推進ネットワークは一昨年から始動し全国9プロジェクトで活動しています。主な活動はローカル・マニフェストの推進を図るため、各地首長選にて公開討論会などを実施しています。その他講演会やマニフェストフォーラム、市民からマニフェストを考えるという取り組みもしています。  
**安陪** 市民からの声を採り上げたマニフェストなどはこれからも勧めたいと思いますか。  
**田嶋** もっとやりたいと思っていますが、なかなか難しいのが現状です。テーマを身近な5つ位に絞る必要があります。知事選よりも市長選のほうが身近で関心が高いですね。周南市長選は後継者に挑戦者が勝った形になりました。これは政策の中身で選ばれたのではないかと分析しています。  
**安陪** 分かりやすさがポイントですね。  
**田嶋** 例えば周南市長選のアンケート結果をみると、公開討論会は8割以上が評価しています。  
**安陪** この活動を参政意識の向上につなげていけるかと思えますが。  
**田嶋** 公開討論会やマニフェストの推進で投票率が必ず上がるとは限りません。まだ3年目の取り組みなのでまだまだ浸透していないと思っています。



《 安陪幸伸理事長 》

**田嶋** ここに面白いデータがありまして、前回の衆議院選挙のときのアンケートで、「マニフェストを重視するか」という問いに対して都市部より郡部のほうが若干率が高いです。投票率がこれで確実に上がるとは言えないです。ただマニフェストを重視するのは都市部と思っていました。それがそうでもないです。これから向上していく可能性はあるかと思えます。  
**安陪** 市民の参政意識向上によつて地方分権がどう変わっていくとお考えですか。  
**田嶋** マニフェストにより具体的な争点を明示できます。市民に分かりやすく考えるきっかけとなります。例えば三次市は子育て日本一宣言ということをやっています。育児休暇中の給与は全額支給で、職務は臨時職員でまかなう形です。しかもその臨時職員の給与は特別職の給与から支給されます。この取り組みはマニフェストがあつて、職員の意識改革につながつた成果です。掲げていることはやらなければならないという意識付けになったんですね。今回鳥取で市長のマニフェスト検証大会に取り組まれることで行政もより情報公開しなればならぬかと思えます。  
**安陪** 鳥取市長も内部評価は行われ、HP等で公開もされています。今回の取り組みも快く受けていただいたと思つています。残念なのは市民が市に対して自分のことではないように捉えている感じがあるところですね。  
**田嶋** 最初にお話したように、公共のことは3分の2は地方でやつているがお金は3分の2が国の予算なのです。自分たちのお金でやつているともっと関心が高まるかと思えます。関心が高まりにくい社会の仕組みがあつて、それも変えていかなければならないでしょう。

進捗状況はHP等にて公開されています。第8次鳥取市総合計画とこのマニフェストに沿つて、市民が選んだ市長と議会によつてこの「まちづくり」は進んでいきます。あなたの一票は生かされていますか？これから生かされますか？市民一人一人が意識を持つて社会に参画していきましょう。

## ◆他地域での取り組みの紹介

全国各地にて青年会議所は社会参画意識の向上を目指して、ローカル・マニフェスト推進の取り組みを展開しています。今月はその中から昨年8月に倉敷市で行われた、青年会議所が中心となつた取り組みを紹介します。

「倉敷市長マニフェスト」  
市民検証・評価大会  
平成18年8月26日(土)

倉敷市の古市健三市長が平成16年春に『人、輝くまち くらしき。』実現のための3つのビジョン』を掲げ、市政1期目がスタートして平成18年5月で任期折り返しの丸2年を迎えました。

マニフェストとは、選挙時に掲げるだけでは意味が無く、その後、評価・検証大会をきちんと実施することでマニフェストサイクルが実現し効果が発揮されます。倉敷青年会議所は、平成16年に倉敷市長選公開討論会を、実行委員会の中心となり開催した経緯があり、倉敷市におけるマニフェストサイクルの実現のため、この「倉敷市長マニフェスト」市民検証・評価大会を開催する必要があるとの考えの下、市長選挙の際に古市市長が市民に対して約束した政策目標が、現在どの程度まで実現・達成できているかを、有権者や市民の立場から検証及び評価を行うことにより、マニフェスト型地域経営の定着、そして発展を目指すとともに、真の地方分権を推進し、より一層の住民自治の向上を図ることを目的として開催しました。

**安陪** そうしますと道州制の議論がでてくると思いますが。  
**田嶋** 道州制については私は慎重派。北海道の特区などはほとんど権限委譲されていませぬからな。

**安陪** 実際はあまり変わつてないですよ。北海道ではあれ位だと、どこまで出来るのか不安ですね。

**安陪** 広島県や岡山県では喧々囂々やつていくように思いますが、山陰ではあまり議論が活発化していないように思つています。  
**田嶋** やはり少し難しいのではないかなと思つています。どこまで自由にできるのかな？

**安陪** 分権推進と道州制の議論が分けられているのはおかしいですね。結局国の考えでお達しやるような形になるのでしょうか。住民の意識改革には何が必要だと思われませんか。

**田嶋** 以前片山前知事にインタビューした時にこう言われていました。「みんなが半歩前に出られる仕掛け」。こういふことが必要なんだと思つています。市民に税金についても関心を持つてもらつても大切ですが。都市と地方では税率の違いも大きいです。特に法人税です。企業が無いところは税率が圧倒的に少ないわけです。景気変動する法人税は国の税収として、消費税などは地方でいいのではないのでしょうか。そんなことも市民に考えて欲しいと思つています。住民の自発が本望ましいのですが、地域の人物、工芸や伝統芸能など地域の発展はやはり人、人を活かすための仕掛けを行政がしないといけないと思つています。

仕掛けがあつて初めて市民が行政やマニフェストについて考えられると思つています。ちよつとしたきっかけ作りですね。せひJCのような団体がつなげてほしいですね。  
**安陪** 行政も市民もそれぞれの役割を理解、認識して相互補完していかなければならないと思つています。市民の考えと市政が一致しなければならぬのに合致していないのが現状です。このままだとまちの発展につながりませぬ。ローカル・マニフェスト、市民マニフェストが一致するように、お互いが力を合わせてまちづくりをしていきたいですね。

本日は、ありがとうございました。